

医療法人社団 哺育会 横浜相原病院
〒246-0026
神奈川県 横浜市 瀬谷区 阿久和南2-3-12
電話 045-362-7111 (代)
発行責任者 藤渡 辰馬

YOKOHAMA



AIHARA

NEWS



このQRコードから
病院ホームページを閲覧できます



藤渡 辰馬 院長 2025年4月 新年度挨拶



藤渡 辰馬 院長

みなさまこんにちは。2025年は昭和100年にあたり、
日本では高齢化がさらに加速する年とも言われています。

戦争や物価高騰など暗いニュースが続いていますが、皆さまの温かいご支援に支えられて
当院が地域で用いられ歩みを続けられていますことに心より感謝申し上げます。
人手不足が叫ばれるなか、医療の分野においても人工知能（AI）の活躍が期待されている
ところではありますが、当院では人と人との関わりを何よりも大切にし、
心のこもった医療を心がけていきたいと思っています。

今年度は横浜市大より三浦公実先生をお迎えし、診療に加わっていただく
こととなりました。診療報酬改定やベッド数削減など、精神科医療・病院運営には
今後も厳しい課題が突き付けられることが予想されますが、患者さんと地域のニーズを
第一に考えながら病院としての歩みを続けていきたいと思っております。
引き続き皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



Dr. 紹介



三浦 公実 医師
出身地
大学時代の部活
趣味
一言

山口県
合唱部
美術館
どうぞよろしくお願い致します



物忘れ外来

認知症疾患医療センター 業務拡充の案内

満開の桜はほとんど新緑に変わりました。

横浜相原病院は横浜市から認知症疾患医療センター事業を受託しており、その役割は、①鑑別診断と治療、②医療機関や介護施設との連携、③地域啓発に大別されます。認知症診療の潮目が大きく変わりゆく今、当センターもその在り方を改定しました。

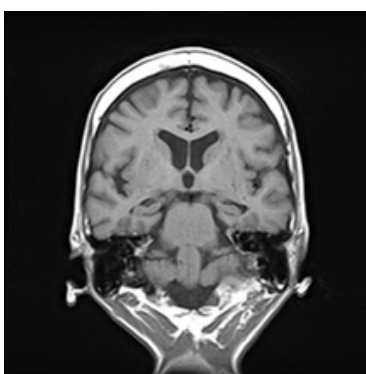
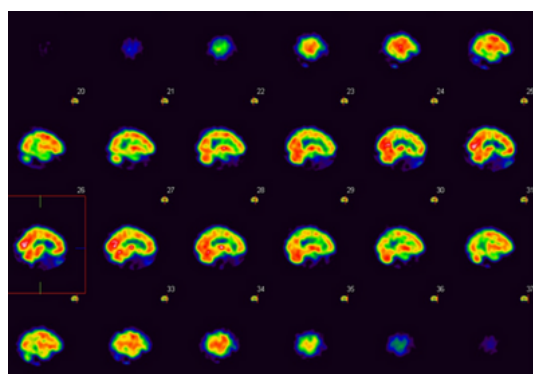
これまで認知症の前段階として「未病」とみなされていた軽度認知障害（MCI; mild cognitive impairment）に対する抗アミロイドβ抗体薬が（その基礎疾患がアルツハイマー病である方に限り）保険収載され、当院でも導入を検討しています。この抗体薬療法においては厳密な適応基準と治療計画が定められていますから、先ず詳しい説明と相談の場を整えます。



報道の影響により「認知症＝アルツハイマー病」との誤解が生じないかと懸念されるところ、地域への情報発信と啓発活動が一層重要になりました。

このように変われども、大項目100以上に分類される認知症疾患の鑑別診断が基本です。物忘れだけが認知症症状ではありません。「ことばが出にくい」「ぼんやりして動きが緩慢になった」「転びやすい」「車を擦るようになった」「目の前の物がつかみにくい」などの異変に気づかれていないでしょうか。当センターでは早期発見に力点を置き、横浜市による「もの忘れ検診」に加え、厳選された検査項目からなる「認知症・MCIドック」を開設しました。

若年性認知症や認知症症状を伴う指定難病の診療も行っています。生活習慣病による認知症症状の悪化も受診された多くの方々にみられます。以上に対応するため診察の流れや検査内容を練り直し、外来枠を拡充しました。ご家族のみの相談もお受けしています。



診察に至らずとも、認知症疾患医療センターには多種多様な相談が寄せられます。当事者の方々の権利擁護にも気配りしなければなりません。来院なさる患者さんやご家族に「縁側」のような「オープンカフェ」のような柔らかみが提供できれば尚良と思います。

ご支援いただく地域包括支援センター、介護事業所、かかりつけの先生方、検査機器の共同利用に協力いただく医療機関各位に厚く御礼申し上げます。

センター長 認知症専門医 岸 敏郎

精神科デイケアの日常

「梅見に行ってきました！」

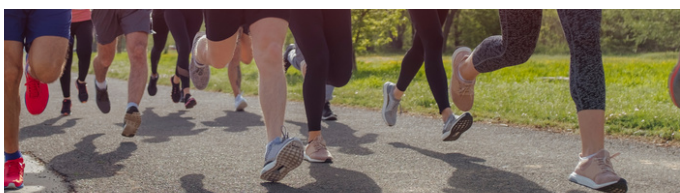
少し前の写真ですが、
こども自然公園までマイクロバスを利用して行ってきました。
穏やかな気候の中、園内を散策しながら見ごろを迎え始めた梅を鑑賞し、メンバーさんはもちろんのことスタッフも癒されました。写真にはないですが、梅を見つつちょっとしたお茶菓子もいただいております。

普段出かけないところに行くのは、いい気分転換になりますね♪

【相談窓口】

時間：8:45～17:30（平日・土曜）

電話：045-360-6730（直通）デイケア迄



マラソン部



！こんにちは！

横浜相原病院の「マラソン部です！」

毎週水曜の業務後に皆で集まり、練習をすることをメインに活動しております。

その日に集まったメンバーによって3km～10kmと距離を調節し、おしゃべりしながらまったりとランニングを楽しんでおります。

走り終わった後はお茶やお菓子を持ち寄りプチお疲れ様会をするのが恒例です。

年に数回ほど大会にも参加しており、10km程の大会を景色を見ながら走り、完走した後は今回のタイムはどのくらいか、仮装している人がたくさんいたなど、振り返って盛り上がっております。

新入職員紹介



BLSトレーニングの様子

今年、8名の職員が横浜相原病院に加わりました。

写真は新人研修のBLSトレーニングの様子です。当院は精神科病院ですが、身体合併症を持つ高齢の患者さんも多く入院しているため、対応力を高めるための訓練を行っています。

- ・実践教育は特定看護師がサポートしてくれるので、安心して学べます。
- ・倒れている人を見つけた際には、勇気を持って助けられるように練習しました。

皆が笑顔で新しい環境に挑戦する姿が印象的でした。研修中は、熱心にメモを取り、講師の言葉に耳を傾けている姿が見受けられました。各部門の垣根を越えて連携を深めるための貴重な時間となり、今後の業務においてもその成果が期待されます。

新しい仲間たちがこの病院の一員として、患者様のために力を発揮できるよう、私たちも全力でサポートしていきたいと思います。



栄養科レシピ ～春らしい彩の良いメニュー～

鶏肉のスナップエンドウ炒め

腸内環境を整える健康的な食事

- ①食物繊維で腸を刺激して便秘解消
食物繊維は噛み応えがあるので、満腹感を感じやすく低カロリーなので肥満予防にも効果的
- ②たんぱく質を組み合わせることで美肌効果
鶏肉の良質なたんぱく質はビタミンやミネラルも豊富で体力維持や老化防止に！
- ③卵のビタミンで疲労回復や皮膚を健康へ



写真はイメージです

材料

鶏もも肉	1枚
卵	2個
玉ねぎ	1/2個
長ネギ	1/3本
スナップエンドウ	10本
①酒	小1
①塩	1/2
②コンソメ	小2
②おろし生姜	小2
②塩	1/2
油	

作り方

- ①切った鶏もも肉は、調味料①でもんでおく
- ②卵2個は割りほぐし、半熟程度に軽く炒って皿に取り出す
- ③スナップエンドウは、熱湯で30秒ほどボイルし皿に取り出す
- ④フライパンでサラダ油を熱し、もも肉を皮目から焼く
- ⑤肉に焼き色がついたら薄切りにした玉ねぎと調味料②を入れて炒める
- ⑥斜め薄切りにした長ネギを入れ火を止めて②③を入れて混ぜる

編集後記

4月に入り当院も新入職者を迎えることになりました。緊張した面持ちで研修を受けている姿を見ると、私も入職時はこうだったなと思い出します。ただ、なぜか当時の私より新入職者の方がしっかりしているように見えて頼もしく感じます。

これから学ぶこと・感じることも多くあると思いますが患者様へのより良い医療の提供を目指し一緒に成長できるよう頑張っていきたいと思います！

また、春は別れの季節でもあり長年お世話になった「喫茶室エスポアル」が惜しまれつつ3月末で閉店となりました。店主・スタッフの人柄も含め患者様からも職員からも愛されていたと思います。今まで本当にありがとうございました！



広報委員会 医事課 林 寿光